

“くらしよし” ふるさとビジョン

愛着と誇り—新しい倉吉のまちづくりに向けて

本市では、昭和28年の市政施行以来、第11次にわたる総合計画を策定し、豊かな自然と長年培われてきた歴史・文化を活かしたまちづくりを進めてきました。

しかし、国内の社会経済動向は、進行する少子高齢化による人口減少・超高齢社会の到来、経済のグローバル化、環境問題の顕在化、深刻さを増す財政状況の悪化や地方分権の伸展など、倉吉市のまちづくりにさまざまな面で大きな影響をもたらしています。

さらに、行政サービスに対するニーズが多様化・高度化しており、従来のように行政がそのすべてを一手に引き受け、さまざまな課題を解決するのは困難となっており、未来に希望の持てる倉吉市を実現するためには、地域に愛着と誇りを持つ市民の皆様との協働が不可欠であります。

このような状況を踏まえて策定した、“くらしよし” ふるさとビジョン（第11次倉吉市総合計画）は、平成23年度から平成32年度までの10年間を見据えた基本構想とし、「愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉」をスローガンに掲げ、倉吉の次世代の皆様は自信を持って引き継ぐことのできる元気なまちづくりを市民の皆様と協働で進めています。

昨年は全国的に「地方創生」が大きなテーマとなりました。本市においては、人口が急速に減少に向かう中で、地域の活力をどう維持していくのか、人口減少を少しでもくいとめるにはどうすればいいのか、市民の皆様や産官学金労言の方々の協力をいただいて「倉吉市未来いきいき総合戦略」を策定しました。

前期基本計画が平成27年度をもって終了するにあたり、新たに策定した第11次倉吉市総合計画【後期基本計画】は、特に人口減少対策や地域経済の発展を見据えて策定した「倉吉市未来いきいき総合戦略」と連動させて取り組むこととしています。

今後も引き続き「愛着と誇り 未来いきいき みんなでつくる倉吉」をテーマに、5年先の「まち」づくり、「ひと」づくり、「しごと」づくりに重点的に先行投資することにより、人口減少社会の到来を現実のものとして受け止め、生まれ育った「まち」に愛着と誇りを持ち、暮らしたい暮らし続けたい「まち」を創出し、生涯にわたり健康でいきいきとした市民生活を送ることができるよう市民の皆様と共に“くらしよし” 倉吉の実現に向けて成長していきたいと考えています。

市民の皆様のご理解とご協力、そしてご参画をいただきますようお願い申し上げます。



倉吉市長
石田 耕太郎

平成28年3月